

3類型	観光資源	通巻番号	3-19-008
地域資源名	和銅採掘遺跡	認定日	平成19年10月12日
地域	埼玉県秩父市	所管省庁	経済産業省、国土交通省

事業名： 和銅採掘遺跡及び和同開珎に関連する地域資源を活用した「ご利益ツアー」及び関連商品の開発

会社名：株式会社 和銅鉱泉旅館

所在地：埼玉県秩父市黒谷822-1

連絡先：TEL：0494-23-3611

H P：<http://www.wadoh.co.jp>

FAX：0494-23-3610

事業概要(新たな活用の視点)

・産地・地域の現状と課題

日本の流通貨幣発祥の地でありながら、採掘遺跡が存在していることについての認知度は低い。また各施設・遺跡の整備は、ハード面・ソフト面ともに決して十分ではない。

・事業着手の経緯

2008年度は「和銅奉獻1300年」。秩父市は1300年祭を企画、ハード面での整備を進めているところ。当社においても、ソフト・サービス面での準備を進めるため、具体的な事業の着手を目指す。

・地域資源の強みと新たな活用視点の導入

和同開珎誕生の地として、古くから銭神様として慕われている。

伝統、文化、歴史など多角的にスポットを当て、貨幣誕生の物語としての史実と、「お金に不自由しない銭神様」を伝える。



和同開珎の巨大モニュメント

写真提供：秩父市和銅保勝会

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・新商品、新サービスのコンセプト

歴史資産「和同開珎」誕生ストーリー等のソフト資源と、和同開珎採掘遺跡や銭神様を祭った神社等ハード資源の融合による地域資源の活性化。

・競合製品との優位性

交通の利便性における地理的優位性。

日本の通貨誕生の歴史、銭神様のご利益、花など地域資源の複合化による優位性。

◆市場性

・市場ニーズ、市場規模

近年の旅行に対するニーズは「テーマ志向」であり、その中でも史跡愛好家やご利益を求める層のニーズに合致。

◆販路

・販路開拓方針

和銅奉獻1300年祭・財布供養・宝くじ祈願・ビジネス開運などのイベント事業を実施。和同開珎コイン地域通貨プログラムの開発による認知度の向上を図る。



「銭神様」聖神社

地域資源における関係事業者との連携

・組合・行政・NPO等との連携

埼玉県・秩父市・秩父観光協会・秩父旅館協同組合・和銅保勝会等

・産地の活性化につながる取組

和同開珎遺跡に集まる観光客に対する地域での宿泊・飲食等の波及、及び商品企画・製造・販売

